Q６・経済活動の仕組みを踏まえて、どのような会社をつくりたいか考えてみよう。

　個人事業計画書

|  |  |
| --- | --- |
| 私の会社は（ モノを生み出す ・ サービスを生み出す ）会社にしたいと考えます。 | |
| このような商品（モノ・サービス）を提供します | |
| ねらいとする顧客 |  |
| 特徴 |  |
| 何人くらいの従業員が必要か |  |

※①生み出す商品（モノ・サービス）は１人につき、１つとします。

②基本的に商品は学校内で製作可能なものとします。

③基本的に商品の作成に関しての居残りはできないものとして考えましょう。

売れる自信は（　ある　・　ない　）

ＳＣＥＮＥ２　価格はどのように決まるのか？

　　　　　　　　　　　　　　　　　　・対応教科書ページP（　　　　　　　　　　）

Q１・身の回りにあるモノやサービスの値段で、気になるものをあげてみよう。

|  |
| --- |
|  |

～ 思いつかない人は、教科書を参考にしてみよう ～

Q２・周りの人と話し合って「気になる値段の謎」を解決してみよう。

|  |
| --- |
|  |

Q３・クラスの中で「こんな発見をしました」と発表しよう。（発表のメモをしよう）

|  |
| --- |
|  |

⇒私たちのお金の使い方は、**価格**によって左右されます。人々が買いたいと思う量が多いことを**需要**が多いといい、たくさん商品が売り出されることを**供給**が多いといいます。価格は需要と供給のバランスで決まります。需要が多いのに、供給が少ないと価格は高くなります。需要が少ないのに、供給が多いと価格は下がります。

Q４・自分の会社の商品（モノ・サービス）の値段を大体で良いので考えましょう。

|  |  |
| --- | --- |
| １つ（１回）の値段（予定） | （　　　　　　　　　　　　）　円 |
| ＜理由＞　～ ねらいとする顧客を絞り、原価のことも考えて決定します ～  ねらいとする顧客  原価 | |

ＳＣＥＮＥ３　消費者の生活には、どのような実態があるのだろうか？

・対応教科書ページP（　　　　　　　　　　）

Q１・自分の20年後、35歳として1か月の支出の内訳をつくって評価してみよう。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項目内容 | 自　　　分 | 隣　の　人 |
| 消費支出 | 食料費 | 円 | 円 |
| 住居費（光熱費含む） | 円 | 円 |
| 被服費（洋服などを買う） | 円 | 円 |
| 医療費 | 円 | 円 |
| 交通通信費（通勤、外出、携帯電話通信費など） | 円 | 円 |
| 教育費（子どもに関する出費、習い事など） | 円 | 円 |
| 娯楽費（旅行、遊びなど） | 円 | 円 |
| 雑費（その他） | 円 | 円 |
|  | 貯蓄費 | 円 | 円 |

※教科書の例を参考にし、「３０万円」の給料と仮定して分配してみよう。

Q２・隣の人の１か月の支出の内訳を聞いて、興味を持った点について意見を述べてみよう。（意見のメモ）

|  |
| --- |
| 　～こんな所を他の人に指摘されました～ |